

平成21年度区取組み方針中間振り返り 進捗状況シート（此花区）

中間振り返り 様式2

目標像 区民との協働で 誰もが安心して いきいきと暮らせる 潤いとぬくみのある まちの実現				使命 ①「市民に最も身近な総合的行政機関」として、市民満足度の高いサービスの提供 ②市政における市民とのパイプ役として、情報を積極的に提供し、広く市民の声を聴く情報の受発信 ③地域課題の解決や地域ニーズに即し、市民との協働によるまちづくりの推進				
現状認識	主な経営課題	戦略及び達成目標	21年度具体的取組・業績目標	これまでに行った具体的取組	具体的取組の進捗状況	戦略の進捗状況	課題	課題への対応
<p>経営課題1の背景となる現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 区役所は、市民の身近な窓口として、便利で快適なサービスを提供し、気持ちよく感じていただけている必要がある。 まちづくり機能や窓口サービスの充実、効率的・効果的な業務運営が求められている。 窓口業務（一部の業務）については、毎月第4日曜日に取扱うとともに、毎週金曜日の時間延長（午後7時まで、一部の業務）などを実施しているが、利用者はまだ多くない。 受付窓口が業務担当単位になっており、関連した手続きに複数の窓口を回ることが必要で、時間がかかるケースがある。 	<p>経営課題1 【市民ニーズに対応した満足度の高いサービスの提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ワンストップ化など、わかりやすく、利用しやすい窓口の整備により、区役所の好感度アップをめざす。 	<p>戦略1-1 【利便性の高い区役所の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 窓口サービスの充実を図るため、住民情報担当、保険年金担当の統合や保健福祉センターの組織整備など、区役所機構の見直しにより、窓口をわかりやすくするとともに、効率的な区政運営を行う。 休日開庁や金曜日の時間延長に関し、取り扱い業務の範囲などの拡充を検討し、より利便性の高い区役所づくりに取り組む。 住民異動や戸籍などの届出窓口と住民票等の証明書発行窓口を分け、わかりやすく、迅速な対応に努める（21年度実施に向け検討）。 <p>（達成目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> 窓口のワンストップ化による分りやすい窓口の整備。 窓口の「たらいまわし感」の解消。 	<p>取組1-1-① 【区役所機構の再編によるわかりやすく、効率的な窓口整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 住民情報担当と保険年金担当を統合し、窓口サービス担当を設置。 保健福祉センターの組織体制を福祉・保健・生活支援の3担当に再編。 <p>（業績目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> 新設の窓口サービス担当では、住民異動に伴う際の処理など利便性を向上させ、保健福祉センターは3担当への再編により、利用者にわかりやすい窓口を整備（4月）。 	<ul style="list-style-type: none"> 住民情報担当と保健年金担当を統合し、窓口サービス担当を設置（21年4月） 支援運営担当と地域保健福祉担当を統合・再編し、福祉担当、保健担当、生活支援担当の3担当を設置することにより、従来の2担当にまたがっていたサービスの提供が整備され、区民の利便性が向上した。（21年4月） 住民異動などの届出申請窓口と住民票などの証明発行窓口を別に配置した。（21年8月） 庁内案内標示板の一部を修正・整備（21年4月） 	①	B	<ul style="list-style-type: none"> 窓口の「たらいまわし感」の解消については、各担当職員の連携により一定成果をあげつつあるが、各担当間にまたがるサービスの提供のワンストップ化については、さらに組織的な検討をしていく必要がある。 	イ

※1 「具体的取組の進捗状況」 → ①：達成又は年度内に達成見込み ②：達成できない可能性がある ③：達成の見込みなし

※2 「戦略の進捗状況」 → A：当初の想定以上の成果が見込める B：当初想定したとおりの成果が見込める C：当初想定した成果が見込めない可能性がある D：当初想定した成果は見込めない

※3 「課題への対応」 → ア：21年度区取組み方針の改定 イ：21年度区取組み方針は改定せず、実施方法を改善 ウ：22年度区取組み方針に反映

平成21年度区取組み方針中間振り返り 進捗状況シート（此花区）

中間振り返り 様式2

目標像 区民との協働で 誰もが安心して いきいきと暮らせる 潤いとぬくもりのある まちの実現		使命 ①「市民に最も身近な総合的行政機関」として、市民満足度の高いサービスの提供 ②市政における市民とのパイプ役として、情報を積極的に提供し、広く市民の声を聴く情報の受発信 ③地域課題の解決や地域ニーズに即し、市民との協働によるまちづくりの推進						
			取組1-1-② 【休日開庁及び金曜日時間延長時に取扱っている窓口業務の拡充を検討】 ・毎月第4日曜日に取扱っている転入・転出届、印鑑登録、住民票の写し、戸籍、住民異動に伴う国民健康保険・後期高齢者医療制度にかかる手続き等のほか、取扱い業務の拡充を検討。 ・毎週金曜日、上記に加え、取り扱っている住民異動に伴う介護保険・児童手当、老人医療費助成など福祉・医療制度の各種申請・届出などのほか、取扱い業務の拡充を検討。 (業績目標) ・検討委員会を設置し検討。	・区窓口業務検討プロジェクトチームや住民情報窓口担当等で検討。(21年6月～)	②	C	・現行の取り扱い業務と拡充すべき取り扱い業務について、区民の要望・意見等の聴取をしたうえで、必要な業務を精査し拡充・見直しをする必要がある。	イ
			取組1-1-③ ・住民票の写し・印鑑登録証明書等の証明書発行窓口と税証明発行窓口をまとめる。 (業績目標) ・届出受付業務の集約化及び証明書発行窓口の一元化によるわかりやすい窓口整備。	住民票などの証明書発行窓口と税証明窓口の一本化を実施(21年8月)	①	B	税証明窓口を証明書発行窓口に一元化したことを、引き続き区民に対し周知し、案内標示もよりわかりやすくする。	イ
			取組1-1-④ ・戸籍事務の処理時間を短縮するため、電算化に向けた準備を行う。 (業績目標) ・22年3月の稼働に向け、端末機器の設置による円滑なシステム運用テストの実施。	・システム運用テストの実施(21年3月) ・戸籍簿の事前点検及びマイクロ撮影(～21年6月) ・戸籍の疑義照会、事後報告処理及びデータ移行(21年8月～)	①	B	22年7月のシステムの本稼働に向け、スケジュールに従いデータの点検・移行作業を実施していく。	ウ

※1 「具体的取組の進捗状況」 → ①：達成又は年度内に達成見込み ②：達成できない可能性がある ③：達成の見込みなし

※2 「戦略の進捗状況」 → A：当初の想定以上の成果が見込める B：当初想定したとおりの成果が見込める C：当初想定した成果が見込めない可能性がある D：当初想定した成果は見込めない

※3 「課題への対応」 → ア：21年度区取組み方針の改定 イ：21年度区取組み方針は改定せず、実施方法等を改善 ウ：22年度区取組み方針に反映

平成21年度区取組み方針中間振り返り 進捗状況シート（此花区）

中間振り返り 様式2

目標像 区民との協働で 誰もが安心して いきいきと暮らせる 潤いとぬくもりのある まちの実現		使命 ①「市民に最も身近な総合的行政機関」として、市民満足度の高いサービスの提供 ②市政における市民とのパイプ役として、情報を積極的に提供し、広く市民の声を聴く情報の受発信 ③地域課題の解決や地域ニーズに即し、市民との協働によるまちづくりの推進						
・市民満足度の向上のため、 接客研修のほか改善目標を 設定し、職員への周知と自主 的な実践を進めている。 ・区役所が明るく親切になっ てきたとの声をいただく一 方、説明が不十分、待ち時間 が長いとの意見もある。	・さわやか あいさつ忘れず に親切丁寧で、迅速的確な 窓口対応など、利用者の目 線に立ったサービスを提供す る。	戦略1-2 【親切で丁寧な窓口対応】 ・毎年度、職員の接客研修を実施し、 親切で丁寧な窓口対応を行う。 ・プロジェクトチームによる窓口業務 改善の検討、元気アップサポーター （職場改善担当者）による毎月の重 点取組みの推進により、区役所の好 感度アップをめざす。 （達成目標） ・すべての来庁者が気持ちよく用件を 済ませ、満足して帰っていただける区 役所をめざす。	取組1-2-① ・全職員に接客研修を実施し、より親切 で丁寧な対応ができるようにする。 （業績目標） ・接客研修を実施（10月頃）	全職員対象の接客研修を実施予定（21年10 月）	①	B	事前のモニタリングにより、各担当の具体的に改善すべき点を把握した うえで、研修を実施することが必要である。また、接客研修の結果を十分 検証することにより、研修内容の充実化を図っていく。	イ
		取組1-2-② 【職場改善や元気アップ運動の推進】 ・若手職員をまじえたプロジェクトチーム による提案をもとに、職場・業務改善の 実施。 ・各担当で元気アップサポーターを選任 し、職場の意見を集約して全庁的な重 点行動目標を設定し、取り組みを進め る。 （業績目標） ・区民へのアンケートを実施（6月から） し、職場改善の取り組みに反映。	・各担当から選任されたメンバーで構成する元 気アッププロジェクトチームを設置し、プロジェク トチーム会議を開催した。（21年6月） ・重点行動目標を設定し、メンバーを中心として 各担当で取り組みをおこなっている。	①	B	元気アッププロジェクトチームで検討された重点行動目標の取り組みを 拡充していく。	イ	

※1 「具体的取組の進捗状況」 → ①：達成又は年度内に達成見込み ②：達成できない可能性がある ③：達成の見込みなし

※2 「戦略の進捗状況」 → A：当初の想定以上の成果が見込める B：当初想定したとおりの成果が見込める C：当初想定した成果が見込めない可能性がある D：当初想定した成果は見込めない

※3 「課題への対応」 → ア：21年度区取組み方針の改定 イ：21年度区取組み方針は改定せず、実施方法等を改善 ウ：22年度区取組み方針に反映

平成21年度区取組み方針中間振り返り 進捗状況シート（此花区）

中間振り返り 様式2

目標像 区民との協働で 誰もが安心して いきいきと暮らせる 潤いとぬくもりのある まちの実現				使命 ①「市民に最も身近な総合的行政機関」として、市民満足度の高いサービスの提供 ②市政における市民とのパイプ役として、情報を積極的に提供し、広く市民の声を聴く情報の受発信 ③地域課題の解決や地域ニーズに即し、市民との協働によるまちづくりの推進				
経営課題2の背景となる現状 ・市政に対する区民の意見を的確に把握し、施策に反映するとともに、地域課題を解決するための取り組みを区民と協働で進めるうえで、情報がわかりやすく確実に伝わる必要がある。 ・区の行事や取り組み、市政・区政情報を効果的に周知する必要がある。 ・区民からの情報提供や編集への参加、職員の取材による地域に密着した記事の掲載などにより、区民に身近で親しめる広報にすることが必要である。 ・21年3月から携帯サイトにより区政情報を発信している。 ・広報紙発行部数 29,500部 区内公共施設等への配置 48か所(JR西九条駅、区民ホール、北市民病院ほか)	経営課題2 【情報の受発信拠点としての機能の充実】 ・市政・区政や地域情報の積極的な発信など広報紙の充実に努め、サービス向上と市政への信頼を確保する。 ・ホームページの即時性をいかし、タイムリーな情報発信に努める。 ・地域の取り組み等を区民の生の声で伝えるなど、区民参画の広報活動を推進する。	戦略2-1 【わかりやすくタイムリーな情報発信】 ・わかりやすい広報紙の編集に努め、市政・区政の情報を的確に発信するとともに、区民や幅広い職員の参画によるきめ細かい情報提供を行い、魅力アップを図る。 ・ホームページについて、各担当から直接入力できるシステムへの変更に伴い、即時性をいかにしたタイムリーな情報提供を進める。 ・地下鉄駅構内へ区役所の掲示板を設置するとともに、広報紙を区内の公共施設、駅などへ配置し、市政・区政に関する情報の積極的な発信を行う。 (達成目標) きめ細かい行政情報を職員各層の参画により、広報紙では「詳しくわかりやすく」、ホームページでは「すばやく見やすく」伝えるとともに、幅広い区民の参画により、地域の声やまちの息吹を盛り込むなど、協働参画型の広報の推進。	取組2-1-① 【区民や職員の参加による広報紙づくり】 ・区民からの情報提供により、きめ細かいまちかど情報の掲載を増やす。 ・幅広い職員の参画で編集委員会を活性化させ、地域への取材などによる魅力ある紙面づくりを推進する。 (業績目標) ・広報紙に区民の寄稿・参画(毎月2件以上)、広報紙の編集会議に各担当1名の参画(毎月)。 ・広報紙に対する読者満足度100%をめざす(アンケートの実施)。	・広報紙に、区民がつづるリレーエッセイを掲載(21年4月～) ・従来の編集会議等を統合・改編し、各担当から構成される広聴広報委員会幹事会議を設置し、毎月広報紙の内容等の検討をおこなっている。(21年6月～) ・区内小学生が取材する「こどもしんぶん」の企画を検討(22年3月予定) ・広報紙を含めた広報に対する区民アンケートを、区民モニター事業で実施を検討(22年1月予定) ・区民に対してリアルタイムに情報提供できる携帯メルマガの実施を検討(22年1月予定)	①	B	区民が期待する情報をタイムリーかつ的確に提供していけるよう、引き続き、区民からの意見や要望を聞きながら、より洗練された広報紙の制作に努める必要がある。	ウ
			取組2-1-② 【ホームページ*を活用したリアルタイムの情報提供】 ・地域への取材による多彩な情報や区の各担当からの情報を随時掲載し、最新情報を提供。 (業績目標) ・地域行事レポートの掲載を50回に増やす(20年度 42回) ・情報広場の利用を15回に増やす(20年度 7回)	・打ち水大作戦など地域に出向き取材することや、区民の関心が高い新型インフルエンザ情報を最新情報を発信した。 ・緊急情報、トピックスで必要不可欠な情報の発信や、新着情報枠を5枠から10枠にして、新しい情報を検索しやすとした。	①	B	・広報紙では紙面の都合上難しい地域の行事やまちづくり活動などの情報を、ホームページで画像も多く使用しながら、きめ細かい情報の発信をしていく必要がある。 ・広報紙記事の詳細をホームページで掲載するなど、ホームページと広報紙が連携した記事づくりが必要である。	ウ

※1 「具体的取組の進捗状況」 → ①：達成又は年度内に達成見込み ②：達成できない可能性がある ③：達成の見込みなし

※2 「戦略の進捗状況」 → A：当初の想定以上の成果が見込める B：当初想定したとおりの成果が見込める C：当初想定した成果が見込めない可能性がある D：当初想定した成果は見込めない

※3 「課題への対応」 → ア：21年度区取組み方針の改定 イ：21年度区取組み方針は改定せず、実施方法等を改善 ウ：22年度区取組み方針に反映

平成21年度区取組み方針中間振り返り 進捗状況シート（此花区）

中間振り返り 様式2

目標像 区民との協働で 誰もが安心して いきいきと暮らせる 潤いとぬくもりのある まちの実現				使命 ①「市民に最も身近な総合的行政機関」として、市民満足度の高いサービスの提供 ②市政における市民とのパイプ役として、情報を積極的に提供し、広く市民の声を聴く情報の受発信 ③地域課題の解決や地域ニーズに即し、市民との協働によるまちづくりの推進				
			取組2-1-③ ・地下鉄駅構内に区役所の掲示板を設置し、区政情報を積極的に発信する。 （業績目標） ・最寄りの地下鉄1駅に設置。	・地下鉄弁天町駅に区役所掲示板を設置（21年8月） ・毎月3回以上定期的に、広報紙・ポスター等の補充・更新。	①	B	・区外居住者に対して、継続的に此花区の情報を発信していくことにより、此花区の理解とイベント等への参加を促していく必要がある。	イ

※1 「具体的取組の進捗状況」 → ①：達成又は年度内に達成見込み ②：達成できない可能性がある ③：達成の見込みなし

※2 「戦略の進捗状況」 → A：当初の想定以上の成果が見込める B：当初想定したとおりの成果が見込める C：当初想定した成果が見込めない可能性がある D：当初想定した成果は見込めない

※3 「課題への対応」 → ア：21年度区取組み方針の改定 イ：21年度区取組み方針は改定せず、実施方法等を改善 ウ：22年度区取組み方針に反映

平成21年度区取組み方針中間振り返り 進捗状況シート（此花区）

中間振り返り 様式2

目標像 区民との協働で 誰もが安心して いきいきと暮らせる 潤いとぬくもりのある まちの実現				使命 ①「市民に最も身近な総合的行政機関」として、市民満足度の高いサービスの提供 ②市政における市民とのパイプ役として、情報を積極的に提供し、広く市民の声を聴く情報の受発信 ③地域課題の解決や地域ニーズに即し、市民との協働によるまちづくりの推進				
・ホームページのアクセス件数 19年度:79,547件 (月平均:6,629件) 20年度:60,088件 (月平均:6,676件、12月まで) ・意見箱の設置と投稿件数 19年度:6か所 33件 20年度:9か所 36件(12月まで) ・出前講座の実施回数 19年度:17回 739名 20年度:16回 635名(12月まで)		戦略2-2 【区民の声の区政への反映】 ・出前講座や職員の地域担当制を活用し、地域と職員の交流によるきめ細かな情報の発信とともに、積極的な広聴活動により、広く区民の声や意見の把握に努める。 ・電子メールを活用した区政モニターの実施により、区の事業や窓口対応に対する満足度、地域の課題等のアンケートを行い、区政に反映する。 ・地域との交流による的確なニーズの把握と市民の声等で寄せられた情報の分析により、区政改革やまちづくりなどの施策に反映する。 (達成目標) ・区民の声をいかした区政運営に向け、幅広い区民との交流や意見箱、モニターなど、さまざまなチャンネルを通じて多様な意見・提言を吸収する広聴の推進。	取組2-2-① ・ロコミも含め積極的なPRにより、出前講座の利用促進を図り、区行政の情報発信や地域ニーズの把握に努める。 (業績目標) ・出前講座の利用件数を20回に増やす(20年度16回)。	・ホームページにおいて新たな内容の出前講座を掲載(21年4月) ・各種団体等の会議・行事等で出前講座利用についてのPR(21年4月～) ・出前講座利用件数 10件(21年9月末)	①	B	区民や地域ニーズをふまえた出前講座内容の充実・拡充を図る。	ウ

※1 「具体的取組の進捗状況」 → ①: 達成又は年度内に達成見込み ②: 達成できない可能性がある ③: 達成の見込みなし

※2 「戦略の進捗状況」 → A: 当初の想定以上の成果が見込める B: 当初想定したとおりの成果が見込める C: 当初想定した成果が見込めない可能性がある D: 当初想定した成果は見込めない

※3 「課題への対応」 → ア: 21年度区取組み方針の改定 イ: 21年度区取組み方針は改定せず、実施方法等を改善 ウ: 22年度区取組み方針に反映

平成21年度区取組み方針中間振り返り 進捗状況シート（此花区）

中間振り返り 様式2

目標像 区民との協働で 誰もが安心して いきいきと暮らせる 潤いとぬくもりのある まちの実現			使命 ①「市民に最も身近な総合的行政機関」として、市民満足度の高いサービスの提供 ②市政における市民とのパイプ役として、情報を積極的に提供し、広く市民の声を聴く情報の受発信 ③地域課題の解決や地域ニーズに即し、市民との協働によるまちづくりの推進				
		取組2-2-② ・職員が地域の行事やボランティア活動へ積極的に参加し、地域課題や要望、意見の積極的な把握に努める。 (業績目標) ・地域活動への参加(毎月)、各種行事への参加。 ・参加する職員の増をめざす。	・毎月1回の区民一斉清掃や地域の行事等に、地域担当制の課長級や一部係長・係員がボランティアとして参加し、地域の課題や要望の把握等に努めた。(21年4月～) ・地域でおこなうたばこポイ捨て一掃・路上喫煙防止キャンペーンへ参加予定(21年12月～)	①	B	地域課題や要望等を把握することにより、情報の受発信や施策への反映が可能となるので、継続的な地域活動への参加が不可欠である。	ウ

※1 「具体的取組の進捗状況」 → ①：達成又は年度内に達成見込み ②：達成できない可能性がある ③：達成の見込みなし

※2 「戦略の進捗状況」 → A：当初の想定以上の成果が見込める B：当初想定したとおりの成果が見込める C：当初想定した成果が見込めない可能性がある D：当初想定した成果は見込めない

※3 「課題への対応」 → ア：21年度区取組み方針の改定 イ：21年度区取組み方針は改定せず、実施方法等を改善 ウ：22年度区取組み方針に反映

平成21年度区取組み方針中間振り返り 進捗状況シート（此花区）

中間振り返り 様式2

目標像 区民との協働で 誰もが安心して いきいきと暮らせる 潤いとぬくもりのある まちの実現				使命 ①「市民に最も身近な総合的行政機関」として、市民満足度の高いサービスの提供 ②市政における市民とのパイプ役として、情報を積極的に提供し、広く市民の声を聴く情報の受発信 ③地域課題の解決や地域ニーズに即し、市民との協働によるまちづくりの推進				
			取組2-2-③ ・区民と区長の懇談会を開催し、意見交換を行う。 （業績目標） ・日常的に交流の少ない区民との懇談や意見交換の実施(12月頃)。	・地域振興会や地域女性団体協議会、区PTA協議会などの会合等で区長と地域住民が懇談を実施(21年7月～) ・最近此花区の住民となった人や、区民モニターになっている人を対象に、区長との懇談会の実施を検討(22年3月予定)	①	B	区長との懇談する対象者の選定方法を検討する必要がある。	イ
			取組2-2-④ ・電子メールを活用した区政モニターの実施による地域課題や区民のニーズの把握。 （業績目標） ・区の事業や窓口対応の満足度、地域課題等のアンケートを行い、まちづくり事業や区政運営に反映(200名募集、年6回程度実施)。	区役所窓口のサービス等について、区民モニターを実施した。モニター登録者145名(21年7月) ・2回目については、広聴広報について実施予定(22年1月予定)	①	B	今後は事業に関する評価や周知度などの検証や、同一内容を一定期間ごとに調査していく必要がある。	ウ

※1 「具体的取組の進捗状況」 → ①：達成又は年度内に達成見込み ②：達成できない可能性がある ③：達成の見込みなし

※2 「戦略の進捗状況」 → A：当初の想定以上の成果が見込める B：当初想定したとおりの成果が見込める C：当初想定した成果が見込めない可能性がある D：当初想定した成果は見込めない

※3 「課題への対応」 → ア：21年度区取組み方針の改定 イ：21年度区取組み方針は改定せず、実施方法等を改善 ウ：22年度区取組み方針に反映

平成21年度区取組み方針中間振り返り 進捗状況シート（此花区）

中間振り返り 様式2

目標像 区民との協働で 誰もが安心して いきいきと暮らせる 潤いとぬくもりのある まちの実現					使命 ①「市民に最も身近な総合的行政機関」として、市民満足度の高いサービスの提供 ②市政における市民とのパイプ役として、情報を積極的に提供し、広く市民の声を聴く情報の受発信 ③地域課題の解決や地域ニーズに即し、市民との協働によるまちづくりの推進			
経営課題3の背景となる現状 ・本市は厳しい財政状況にあり、限られた財源をもとに、効率的で効果的な行政運営に努めるとともに、歳入を確保する必要が高まっている。 ・財政状況に対応した経費の節減が求められている(22年度までに2割削減)。 ・収納率は職員の努力等で大きく改善！ 17年度:81.30% (全市83.58% 18位) 18年度:84.22% (全市84.37% 14位) 19年度:85.08% (全市84.70% 12位) ・厳しい社会情勢や後期高齢者(長寿)医療制度の導入などにより、国民健康保険料の収納率の低下が懸念される ・情報公開の徹底による透明性の高い、ガラス張りの行政運営が求められている。 ・個人情報の適正な保護・管理の徹底が求められている。 ・市民の市政に対する信頼を確保するため、コンプライアンスの確立による公正・公平な行政運営が求められている。	経営課題3 【経営感覚を磨き、市民に信頼される行政運営の確立】 ・厳しい財政状況に対応するため、区独自の歳入確保や経費の削減を図る。	戦略3-1 【経常経費の削減】 ・事務事業を見直し、経常経費の削減目標を達成する。 (達成目標) ・22年度までに経常経費の2割削減(20年度比)。	取組3-1-① ・切り詰めた行政運営を心がけ、庁舎維持管理費や委託費、事業費などの見直しにより、経常経費を削減する。 (業績目標) ・2,300万円を削減。	庁舎維持管理費や委託費、事業費など21年度の経常経費を20年度比で2,400万円の削減	①	B	22年度にさらなる経常経費の削減をおこなうため、庁舎管理費や事業費の見直しが必要である。	ウ

※1 「具体的取組の進捗状況」 → ①：達成又は年度内に達成見込み ②：達成できない可能性がある ③：達成の見込みなし

※2 「戦略の進捗状況」 → A：当初の想定以上の成果が見込める B：当初想定したとおりの成果が見込める C：当初想定した成果が見込めない可能性がある D：当初想定した成果は見込めない

※3 「課題への対応」 → ア：21年度区取組み方針の改定 イ：21年度区取組み方針は改定せず、実施方法等を改善 ウ：22年度区取組み方針に反映

平成21年度区取組み方針中間振り返り 進捗状況シート（此花区）

中間振り返り 様式2

目標像 区民との協働で 誰もが安心して いきいきと暮らせる 潤いとぬくもりのある まちの実現				使命 ①「市民に最も身近な総合的行政機関」として、市民満足度の高いサービスの提供 ②市政における市民とのパイプ役として、情報を積極的に提供し、広く市民の声を聴く情報の受発信 ③地域課題の解決や地域ニーズに即し、市民との協働によるまちづくりの推進				
		戦略3-2 【区独自の収入確保】 ・区の広報紙やホームページなどを活用した広告収入の確保。 (達成目標) ・ 広告収入の増額をめざす。	取組3-2-① ・区の広報紙やホームページ、自動式カレンダー等に広告を募集する。 (業績目標) ・収入目標 250 万円(20 年度見込み: 220 万円)	・広報紙、バナー広告の継続・新規契約の経常的な営業活動をおこなった。(21年4月～) ・自動式カレンダー枠下広告の公募を実施し、事業者を決定(21年9月) ・モニター広告募集の検討(21年6月～) 広告料収入額 203万円(21年9月末)	①	A	新たな広告媒体の調査・検討をすることにより、歳入増を図る必要がある。	ウ

※1 「具体的取組の進捗状況」 → ①：達成又は年度内に達成見込み ②：達成できない可能性がある ③：達成の見込みなし

※2 「戦略の進捗状況」 → A：当初の想定以上の成果が見込める B：当初想定したとおりの成果が見込める C：当初想定した成果が見込めない可能性がある D：当初想定した成果は見込めない

※3 「課題への対応」 → ア：21年度区取組み方針の改定 イ：21年度区取組み方針は改定せず、実施方法等を改善 ウ：22年度区取組み方針に反映

平成21年度区取組み方針中間振り返り 進捗状況シート（此花区）

中間振り返り 様式2

目標像 区民との協働で 誰もが安心して いきいきと暮らせる 潤いとぬくもりのある まちの実現		使命 ①「市民に最も身近な総合的行政機関」として、市民満足度の高いサービスの提供 ②市政における市民とのパイプ役として、情報を積極的に提供し、広く市民の声を聴く情報の受発信 ③地域課題の解決や地域ニーズに即し、市民との協働によるまちづくりの推進						
		戦略3-3 【国民健康保険料の未収額の圧縮】 ・督促強化、滞納処分の実施、口座振替の加入促進による納期内納付者の確保。 ・特別対策期間を設定し、集中した徴収と資格適正化に徹底して取り組む。 (達成目標) ・後期高齢者(長寿)医療制度の導入により、収納率の低下が懸念されるが、19年度の目標を上回る実績をめざす。	取組3-3-① ・未納被保険者に対する窓口や電話による督促とともに、夜間、休日を利用した集中的な取り組みを実施する。 (業績目標) ・保険料収納率:19年度実績(85.08%)の確保。 ・新規加入者をはじめ、口座振替者の加入率を52%にする(20年2月現在50.24%)。	・分割納付している未納者に対し、毎月の窓口納付や、窓口に来ない未納者には文書及び電話での督促を実施。 ・日曜開庁日及び金曜日には、電話等による集中的な督促の実施。 ・滞納処分のための財産調査や、不現住調査の実施 (21年4月～)	②	C	・未納者に対する滞納処分の早期実施 ・分割納付者の納付計画にもとづく定期的な納付の実現。	ウ
	・情報公開の徹底と個人情報の厳格な取り扱いなどにより、信頼される区役所をめざす。	戦略3-4 【情報公開とコンプライアンスの徹底】 ・職員に情報公開制度に対する理解を浸透させ、積極的に情報開示していく。 ・個人情報の持ち出しによる漏洩事故をなくすなど、厳格な管理と取り扱いを徹底する。 ・コンプライアンス意識の徹底を図り、職場点検を行い、公金等の適正な管理に努める。 (達成目標) ・迅速に情報開示していく姿勢を根づかせるとともに、保有している個人情報の必要性のチェック及び厳正な管理の徹底。 ・コンプライアンスを推進する組織風土の確立。	取組3-4-① ・情報公開やコンプライアンスについての研修を実施する。 ・各種団体会計の管理チェック体制の強化を図る。 (業績目標) ・全職員を対象に情報公開とコンプライアンス研修を各1回実施(12月、2月)。 ・内部統制員による会計定期審査の実施(9月、3月)。 取組3-4-② ・業務上、区が保有する個人情報については厳格な管理を徹底と随時チェックを行い、不要となった際は速やかに廃棄する。 (業績目標) ・内部監察の実施(10月)。	・全職員を対象に情報公開とコンプライアンスの研修を実施。(21年9月) ・団体会計の内部監査を実施(21年4月～) ・内部統制連絡会議の開催(5回) ・内部統制員による会計定期審査の準備(21年10月予定)	①	B	職員のコンプライアンス意識のさらなる強化と、市民から信頼される職場風土確立への取組み。	ウ
				個人情報の厳格な管理と不要な情報の廃棄について、庶務担当係長会において随時周知をおこない徹底を図った。	①	B	職員に対する継続的かつ定期的な周知徹底を図る。	ウ

※1 「具体的取組の進捗状況」 → ①：達成又は年度内に達成見込み ②：達成できない可能性がある ③：達成の見込みなし

※2 「戦略の進捗状況」 → A：当初の想定以上の成果が見込める B：当初想定したとおりの成果が見込める C：当初想定した成果が見込めない可能性がある D：当初想定した成果は見込めない

※3 「課題への対応」 → ア：21年度区取組み方針の改定 イ：21年度区取組み方針は改定せず、実施方法等を改善 ウ：22年度区取組み方針に反映

平成21年度区取組み方針中間振り返り 進捗状況シート（此花区）

中間振り返り 様式2

<p>目標像 区民との協働で 誰もが安心して いきいきと暮らせる 潤いとぬくもりのある まちの実現</p>		<p>使命 ①「市民に最も身近な総合的行政機関」として、市民満足度の高いサービスの提供 ②市政における市民とのパイプ役として、情報を積極的に提供し、広く市民の声を聴く情報の受発信 ③地域課題の解決や地域ニーズに即し、市民との協働によるまちづくりの推進</p>						
<p>・地球規模での環境保全の取り組みが求められている。 ・20年度の取り組み状況(19年度比) >エネルギー使用量(電気・都市ガス・重油・ガソリン) 17.2%削減(第3四半期まで) ※冷暖房設定温度の徹底等、全庁的なエコの取り組みなどの成果 >コピー用紙使用量 2.4%削減(第3四半期まで) ※両面コピー、コピー用紙の裏面利用の徹底などの結果 ・まちづくり会議の提唱により、女性会と商店会連盟等の連携による環境保全の取り組みが進められている。</p>	<p>環境保全に区役所が率先して取り組むとともに、区民との協働で環境にやさしいまちづくりを進める。</p>	<p>戦略3-5 【環境にやさしい庁舎とまちづくりの推進】 ・引き続き「区環境保全計画及び行動」を策定し取り組みを推進する。 ・エコオフィスの推進など、区役所が率先し取り組み、区民に環境保全の大切さをアピールする。 ・区民、地域団体、企業との協働による環境保全運動に取り組み、環境にやさしいまちづくりを推進する。 ・区役所等の公共施設の壁面緑化(緑のカーテン)に、区民と協働で取り組み、ヒートアイランド対策を進める。 (達成目標) ・エネルギーの使用量を19年度を基準年度として10%削減。</p>	<p>取組3-5-① 【エネルギー削減に向けた取り組みの推進】 ・エネルギー削減のため昼休みの不要な照明の消灯等、エコオフィスに取り組み。 ・両面コピーの励行とコピー済み用紙の裏面利用とともに、ペーパーレス化を推進し、用紙使用量を削減する。 (業績目標) ・エネルギーの使用量について、19年度を基準年度として10%削減。 ・夏季の冷房温度28度、冬季の暖房温度20度の徹底。不要な照明の消灯の徹底。 ・用紙使用量を19年度を基準年度として、1%の削減。</p>	<p>・夏季のエコ行動の取組みとして冷房温度28度の徹底と、昼休み時の消灯の周知をおこなった。 ・両面コピー、ミスコピー用紙の活用やメール等によるペーパーレス化を推進</p>	②	C	<p>・区役所のエコオフィスや省エネ行動については、来庁者の理解とともに、来庁者への配慮も必要である。 ・選挙事務等の不定期の事務が発生した場合は、用紙の使用量が増加するので、取組みの推進に大きな影響がある。</p>	ウ
			<p>取組3-5-② ・区民との協働により区庁舎の壁面緑化に取り組む。 (業績目標) ・区庁舎壁面2か所。</p>	<p>・区役所庁舎の壁面や中庭等で、アサガオ、ゴーヤ、サツマイモを植え緑化の取組みをおこなった。4か所(21年4月～) ・区民まつりでゴーヤ等の成長記録を展示し、壁面緑化に対する啓発を行った。(21年9月)</p>	①	B	<p>壁面緑化によるエコの取組みを、区民に周知していく方法を検討する必要がある。</p>	ウ

※1 「具体的取組の進捗状況」 → ①：達成又は年度内に達成見込み ②：達成できない可能性がある ③：達成の見込みなし

※2 「戦略の進捗状況」 → A：当初の想定以上の成果が見込める B：当初想定したとおりの成果が見込める C：当初想定した成果が見込めない可能性がある D：当初想定した成果は見込めない

※3 「課題への対応」 → ア：21年度区取組み方針の改定 イ：21年度区取組み方針は改定せず、実施方法等を改善 ウ：22年度区取組み方針に反映

平成21年度区取組み方針中間振り返り 進捗状況シート（此花区）

中間振り返り 様式2

目標像 区民との協働で 誰もが安心して いきいきと暮らせる 潤いとぬくもりのある まちの実現		使命 ①「市民に最も身近な総合的行政機関」として、市民満足度の高いサービスの提供 ②市政における市民とのパイプ役として、情報を積極的に提供し、広く市民の声を聴く情報の受発信 ③地域課題の解決や地域ニーズに即し、市民との協働によるまちづくりの推進						
		・用紙使用量について、オフィス系庁舎環境 ISO にかかる 20 年度～23 年度環境目標基準にもとづき、19 年度を基準年度として毎年度 1% 削減。 ・まちづくり会議による環境学習やイベントの実施により、区民の環境問題への関心を高める。 ・商店街における環境の取り組みの推進（リサイクル資源ごみの回収ボックスの設置やマイバック運動と連携したポイントカード制の導入）。	取組3-5-③ 【まちづくり会議を中心に、市民協働による環境にやさしいまちづくりの推進】 ・マイバック持参運動の推進によるレジ袋削減に取り組む。 ・女性会等との協働による、夏期における打ち水行動の実施。 ・女性会の協力により商店街におけるリサイクル資源ごみの回収に取り組む。 （業績目標） ・マイバック持参運動、打ち水行動の定着（区内 8 地域で実施）。 ・区内全商店街における環境の取り組みの推進（リサイクル資源ごみの回収の本格実施、マイバック運動と連携したポイント制の導入の検討）。	・盆踊りや区民まつりなどが行われる区内 8ヶ所において、打ち水行動を実施し、500名の参加をえた。（21年8～9月） ・クールミスト発生器を区役所及び区民まつり会場に設置し、エコ行動の啓発をおこない、1000人が訪れた。（21年8～9月） ・スーパーや商店街と連携し、エコバッグでのマイバック持参キャンペーンの実施を検討（22年2月予定） ・環境と健康フェア（仮称）でのイベント内容の検討。22年3月開催予定（21年9月～）	①	B	環境にやさしいまちづくりを推進していくためには、区民全体への意識改革と、区民運動としての拡がりが必要である。	ウ

※1 「具体的取組の進捗状況」 → ①：達成又は年度内に達成見込み ②：達成できない可能性がある ③：達成の見込みなし

※2 「戦略の進捗状況」 → A：当初の想定以上の成果が見込める B：当初想定したとおりの成果が見込める C：当初想定した成果が見込めない可能性がある D：当初想定した成果は見込めない

※3 「課題への対応」 → ア：21年度区取組み方針の改定 イ：21年度区取組み方針は改定せず、実施方法等を改善 ウ：22年度区取組み方針に反映

平成21年度区取組み方針中間振り返り 進捗状況シート（此花区）

中間振り返り 様式2

目標像 区民との協働で 誰もが安心して いきいきと暮らせる 潤いとぬくもりのある まちの実現		使命 ①「市民に最も身近な総合的行政機関」として、市民満足度の高いサービスの提供 ②市政における市民とのパイプ役として、情報を積極的に提供し、広く市民の声を聴く情報の受発信 ③地域課題の解決や地域ニーズに即し、市民との協働によるまちづくりの推進						
経営課題4の背景となる現状 ○少子高齢化の進展による単身世帯・高齢者世帯の増加など、コミュニティを取り巻く状況は大きく変化している。 ○地域においては防災力の向上や子育て支援、高齢者・障害者の支援、子どもの安全対策、駅前の駐輪問題など課題は多岐にわたり、その態様も地域により異なっている。 ○区の企画立案による独自事業に対する予算を活用して、地域の特性を活かしニーズに応じたまちづくりを協働で進めていくことが重要である。 ・周囲を海や川に囲まれた低い地形にあり、東南海・南海地震や上町断層系の地震による甚大な被害が予測されるなか、自主防災力の向上が急務である。 ・大規模災害の発生を想定した住民参加型の防災訓練や地域単位の避難訓練の実施が必要である。 >地域自主防災訓練を西島で実施 >住民参加型イベントを6地域で実施 西九条・四貫島・梅香・伝法・恩貴島・島屋	経営課題4 【区民との協働により、地域課題の解決に向けた取り組みや地域ニーズや特性に応じたまちづくりを推進】 ～こんなまちづくりをめざします～ ①地域防災力を向上させ、災害に強いまちづくり。	戦略4-1 【災害に強いまちづくりの推進】 ①地域防災活動を担う人材の育成 ・地域防災リーダー研修の充実や住民向け図上訓練、防災出前講座の実施などによる人材の育成に取り組む。 ②区の防災訓練や地域での訓練・研修の充実 ・災害時に地域で自主的に活動するためには、地域ごとに想定される災害の特性を踏まえた訓練や研修が必要であり、図上訓練やロールプレイング方式による訓練の実施などにより、自主防災力の向上を図る。 (達成目標) ・地域が主体となった防災訓練や研修により、地域防災力を向上させ、自主的な防災活動が行えるようになる。	取組4-1-① 【地域の防災拠点の構築にむけた支援】 ・地域が自主的に訓練や防災イベントを実施できるよう支援する。 (業績目標) ・住民主体の避難所開設訓練を実施(2連合)。 ・救助資材等を補強するとともに、防災拠点を見直す(桜島地区に新設)。	・4月19日西九条第11町会において、図上訓練による防災講習を実施。 ・高見連合(5月6日)、島屋連合(5月31日)の地域イベントにおいて、「地域防災リーダー、消防、区役所」が協働して、消火器による消火訓練を実施。 ・6/18, 6/27, 7/12, 8/10の4回のワークショップを開催。西島連合において、8月26日第1回目の避難所開設訓練を実施。 ・救助資材、備蓄物資等の保管場所等について、桜島連合と協議。	①	B	・地域における防災への感心は高まっていると思われるが、地域のイベント開催時に防災訓練が実施されるため、緊迫感が希薄である。今後は、さらに地域が主体となる防災単独の訓練が必要である。	イ
			取組4-1-② 【地域防災リーダー研修の充実】 ・技術研修の内容を実践型に見直す。 ・図上訓練は、全地域の防災リーダーを対象に実施したうえで、住民への拡大を図る。 (業績目標) ・技術訓練は、実災害を想定した実践型で実施(全10連合を6回程度で開催)。 ・全地域防災リーダーを対象として図上訓練を実施。	・10連合の防災リーダーを中心に、5月31日～7月5日の各日曜日(計6回)に図上訓練及び可搬式ポンプによる消火技術訓練を実施。	①	B		

※1 「具体的取組の進捗状況」 → ①：達成又は年度内に達成見込み ②：達成できない可能性がある ③：達成の見込みなし

※2 「戦略の進捗状況」 → A：当初の想定以上の成果が見込める B：当初想定したとおりの成果が見込める C：当初想定した成果が見込めない可能性がある D：当初想定した成果は見込めない

※3 「課題への対応」 → ア：21年度区取組み方針の改定 イ：21年度区取組み方針は改定せず、実施方法等を改善 ウ：22年度区取組み方針に反映

平成21年度区取組み方針中間振り返り 進捗状況シート（此花区）

中間振り返り 様式2

目標像 区民との協働で 誰もが安心して いきいきと暮らせる 潤いとぬくもりのある まちの実現		使命 ①「市民に最も身近な総合的行政機関」として、市民満足度の高いサービスの提供 ②市政における市民とのパイプ役として、情報を積極的に提供し、広く市民の声を聴く情報の受発信 ③地域課題の解決や地域ニーズに即し、市民との協働によるまちづくりの推進						
・地域防災リーダー(240名)は高齢化しており、行政への依存度が高い。 >60名を対象に図上訓練を実施		①23年度までに全10連合で避難所開設訓練を実施。 ②地域自主防災組織が中心となった防災訓練や啓発活動を毎年度実施。 ③地域防災リーダー、赤十字奉仕団、女性会等を対象にした訓練や研修を毎年度実施。 ④防災関係機関、ライフライン、連合等地域を含めたロールプレイング方式による防災訓練を毎年度実施。	取組4-1-③ 【住民向け図上訓練の実施や啓発活動】 ・図上訓練を各連合単位で実施する。 ・出前講座を開催し、図上訓練開催に向けた啓発を行う。 (業績目標) ・地域防災リーダーによる住民を対象にした図上訓練を実施(3~4連合)。 ・防災出前講座を開催(3か所程度)。	・西九条第11町会を対象に、4月19日避難経路や避難誘導を考える図上訓練の出前講座を実施。	②	B	地域防災力の向上について、訓練実施等の必要性の認識が地域(連合)において格差があると思われる。今後も継続して、地域防災力の必要性を、地域役員を通じて啓発活動が必要である。	イ
			取組4-1-④ 【防災訓練の充実】 ・従来の展示型の防災訓練を見直し、ロールプレイング方式による実践的な訓練を行う。 (業績目標) ・連合単位で消防、区役所、ライフラインによるロールプレイング方式の訓練を実施。	・ロールプレイング方式による防災訓練の実施について、西島連合と協議。	②	B	訓練実施について役員中心になりがちであり、多くの住民が参加することについて、さらに検討する必要がある。	イ

※1 「具体的取組の進捗状況」 → ①：達成又は年度内に達成見込み ②：達成できない可能性がある ③：達成の見込みなし

※2 「戦略の進捗状況」 → A：当初の想定以上の成果が見込める B：当初想定したとおりの成果が見込める C：当初想定した成果が見込めない可能性がある D：当初想定した成果は見込めない

※3 「課題への対応」 → ア：21年度区取組み方針の改定 イ：21年度区取組み方針は改定せず、実施方法等を改善 ウ：22年度区取組み方針に反映

平成21年度区取組み方針中間振り返り 進捗状況シート（此花区）

中間振り返り 様式2

<p>目標像 区民との協働で 誰もが安心して いきいきと暮らせる 潤いとぬくもりのある まちの実現</p>		<p>使命 ①「市民に最も身近な総合的行政機関」として、市民満足度の高いサービスの提供 ②市政における市民とのパイプ役として、情報を積極的に提供し、広く市民の声を聴く情報の受発信 ③地域課題の解決や地域ニーズに即し、市民との協働によるまちづくりの推進</p>						
<p>・大阪市の街頭犯罪件数は44,205件で全国ワーストンであるが、此花区は632件で24区で最少(19年度末)。 ・各地で子どもが事件や事故に巻き込まれるケースが頻発しているなか、老人会等を中心とした「子ども見守り隊」(8小学校下で17団体)が活動しているが、行政機関や他の団体を含む協働の取り組みには至っていない。 ➢此花区青少年育成会議による夜間巡視:年4回実施</p>	<p>②子どもの見守りや防犯の取り組みを強め、安全で安心して暮らせるまちづくり。</p>	<p>戦略4-2 【安全なまちづくりの推進】 ・区安全なまちづくり推進協議会を中心に取り組みを推進する。 ・各校下で組織されている「子ども見守り隊」について、学校・PTA・地域・行政の連携を強化し、より効果的な活動をめざす。 (達成目標) ・街頭犯罪発生件数「24区中最少」を維持し、安全に暮らせるまちづくりを実現。 21年度末:500件(19年度比20%削減) 22年度末:430件(21年度比15%削減) 23年度末:390件(22年度比10%削減) ・区内「子ども見守り隊」の連携により、実効性のある取り組みの推進。</p>	<p>取組4-2-① 番【区安全なまちづくり推進協議会を中心に、関係機関・団体等と連携した取り組みの推進】 ・広報、啓発活動の充実強化や地域安全パトロールの強化。 (業績目標) ・街頭犯罪発生件数632件(19年度末)を500件(19年度比20%削減)に削減。 ・年度早期に区安全なまちづくり推進協議会を開催し、情報交換とパトロール強化、啓発活動等について協議し、強化地域の設定、広報啓発を実施。 ・区内「子ども見守り隊」の実情調査。 ・既存及び新設予定の「子ども見守り隊」への必要な物品の提供。</p>	<p>・区民啓発パトロール隊を区民から公募し、8月にパトロール隊発足式を行い、自転車、自動車での日常的な啓発パトロールを実施。 ・駐輪場、駐車場への啓発ポスターの掲示。 ・子ども見守り隊支援のためのヒアリング調査を実施。 ・子ども安全マップの作成(7月16~17日伝法小学校)や、区民まつりでの啓発活動、恩貴島地域での落書き防止活動などを実施。</p>	①	C	<p>区民啓発パトロール隊などを区民と協働して進め、多くの参加を得ることができ、区民の防犯に対する感心は高まってきているものの、啓発の取り組みが必ずしも犯罪発生件数抑止に結びついていない。</p>	イ
			<p>取組4-2-② 番・区安全なまちづくり推進協議会での検討に基づいた、区役所地域安全担当による重点パトロールを実施する。 (業績目標) ・日常的な安全パトロールや公園・遊具等の点検に加え、重点見回り地域のパトロールを強化。</p>	<p>・日常的に安全パトロールを実施。公園・遊具等の点検に加え、重点見回り地域のパトロールを強化。 ・下校時の子ども見守り活動との連携を強化。</p>	①	B	<p>子ども安全マップで、子どもから見た危険な場所などもパトロール地域に加えるなど、さらに効果のある取組みを目指す必要がある。</p>	イ

※1 「具体的取組の進捗状況」 → ①: 達成又は年度内に達成見込み ②: 達成できない可能性がある ③: 達成の見込みなし

※2 「戦略の進捗状況」 → A: 当初の想定以上の成果が見込める B: 当初想定したとおりの成果が見込める C: 当初想定した成果が見込めない可能性がある D: 当初想定した成果は見込めない

※3 「課題への対応」 → ア: 21年度区取組み方針の改定 イ: 21年度区取組み方針は改定せず、実施方法等を改善 ウ: 22年度区取組み方針に反映

平成21年度区取組み方針中間振り返り 進捗状況シート（此花区）

中間振り返り 様式2

目標像 区民との協働で 誰もが安心して いきいきと暮らせる 潤いとぬくもりのある まちの実現		使命 ①「市民に最も身近な総合的行政機関」として、市民満足度の高いサービスの提供 ②市政における市民とのパイプ役として、情報を積極的に提供し、広く市民の声を聴く情報の受発信 ③地域課題の解決や地域ニーズに即し、市民との協働によるまちづくりの推進						
・迷惑駐輪が増加しており、特に西九条・千鳥橋・安治川口の駅周辺が顕著（約1,500台）。 ・駐輪対策を継続していくためには、行政のみならず、住民参加による協働の取り組みが必要である（2駅で自転車利用適正化協議会を設置・1駅で設置予定）。 ・駅前の駐輪状況 （20年11月平日調査・台数） 西九条駅 986 1076 1425 千鳥橋駅 241 59 478 安治川口駅 291 878 578	③放置自転車対策に取り組み、快適で、利用しやすい駅前に。	戦略4-3 【放置自転車対策の推進】 ・駅周辺での休日における自転車整理、指導、啓発により、適正な自転車利用を呼びかけるなど、放置自転車対策を推進。 ・自転車利用適正化協議会の検討に基づいた市民との協働による取り組みを推進。 （達成目標） ・区内3駅（西九条、千鳥橋、安治川口）で設置した協議会の活動により、自転車利用の適正化を推進。 23年度目標 活動参加人員400人にする 放置自転車台数 950台に減らす	取組4-3-① 西九条、千鳥橋駅において休日ごとの自転車整理、指導、啓発を実施する。 （業績目標） ・4月以降毎休日に実施。 ・放置自転車台数（2駅）1,227台を980台に減らす。	西九条駅・千鳥橋駅において、休日の昼時間帯において、整理作業員による啓発・指導・整理作業を40回実施。	①	B	自転車利用者の意識改革が進んでいないため、行政が主体となった啓発・指導・整理作業が必要な現状がある。	イ

※1 「具体的取組の進捗状況」 → ①：達成又は年度内に達成見込み ②：達成できない可能性がある ③：達成の見込みなし

※2 「戦略の進捗状況」 → A：当初の想定以上の成果が見込める B：当初想定したとおりの成果が見込める C：当初想定した成果が見込めない可能性がある D：当初想定した成果は見込めない

※3 「課題への対応」 → ア：21年度区取組み方針の改定 イ：21年度区取組み方針は改定せず、実施方法等を改善 ウ：22年度区取組み方針に反映

平成21年度区取組み方針中間振り返り 進捗状況シート（此花区）

中間振り返り 様式2

目標像 区民との協働で 誰もが安心して いきいきと暮らせる 潤いとぬくもりのある まちの実現			使命 ①「市民に最も身近な総合的行政機関」として、市民満足度の高いサービスの提供 ②市政における市民とのパイプ役として、情報を積極的に提供し、広く市民の声を聴く情報の受発信 ③地域課題の解決や地域ニーズに即し、市民との協働によるまちづくりの推進				
		取組4-3-2 番・3 駅の協議会の定期的な開催と検討に基づく取り組みを実施する。 （業績目標） ・協議会を中心とした自転車整理、指導、啓発活動の実施 年20回。 ・協議会の検討に基づいた関係機関・地域などと協働によるキャンペーン等の実施。 ・駐輪場の増設、有料化、放置禁止区域の指定などの検討及び関係先への要望。 ・活動参加人員 60人、放置自転車台数(3駅) 1,518台を1,210台に減らす。	3駅の協議会を定期的に開催した。 ・4/5 安治川口駅部会を開催。 ・7/16 西九条駅部会を開催。 ・9/25 千鳥橋駅部会を設置・開催。 ・安治川口駅前にて、毎月第3月曜日の計6回、安治川口駅部会と協働で啓発活動を実施。 ・西九条駅前にて、西九条駅部会と協働で、4/8、4/23、7/30、8/27、8/28の計5回啓発活動を実施。	①	B	各駅協議会のメンバーにおいて、放置自転車問題に対する意識が高まりつつあるも、区全体への拡がりとはなっていない。	イ

※1 「具体的取組の進捗状況」 → ①：達成又は年度内に達成見込み ②：達成できない可能性がある ③：達成の見込みなし

※2 「戦略の進捗状況」 → A：当初の想定以上の成果が見込める B：当初想定したとおりの成果が見込める C：当初想定した成果が見込めない可能性がある D：当初想定した成果は見込めない

※3 「課題への対応」 → ア：21年度区取組み方針の改定 イ：21年度区取組み方針は改定せず、実施方法等を改善 ウ：22年度区取組み方針に反映

平成21年度区取組み方針中間振り返り 進捗状況シート（此花区）

中間振り返り 様式2

目標像 区民との協働で 誰もが安心して いきいきと暮らせる 潤いとぬくもりのある まちの実現				使命 ①「市民に最も身近な総合的行政機関」として、市民満足度の高いサービスの提供 ②市政における市民とのパイプ役として、情報を積極的に提供し、広く市民の声を聴く情報の受発信 ③地域課題の解決や地域ニーズに即し、市民との協働によるまちづくりの推進				
・子育て活動を担うボランティアが高齢化するとともに、人材が不足。 ・各保育所と子育て関係機関のネットワークによる「このはネット」主催によるイベントに110組の親子が参加。 ・子育てサロンが順次開設されてきた。 高見、恩貴島、西九条、西島、春日出(それぞれ月1回10~20組が参加) ・区役所にキッズルームが完成し、11月から暫定的に利用開始。	④地域の子育て力を向上させ、安心して子どもを育てられる環境づくり。	戦略4-4 【地域の子育て力の向上】 ・区民との協働による子育て支援事業を推進し、地域の子育て力を高める。 (1年目)区民協働によりネットワークを強化し、「キッズルーム」、「情報コーナー」を子育て支援の拠点として整備し、事業を推進する。 (2年目)子育て支援事業を地域住民とボランティア主体の活動に移行しつつ、推進していく。 (3年目)ボランティアに中高生を募集し、子育て体験事業などを展開し、地域の子育て力を一層高めていく。 (達成目標) ・子育てサロンを10か所以上に、参加者1,500組にする(23年度)。 ・区内の子育て情報を「情報コーナー」に集約し、保育所や幼稚園に通っていない乳幼児が子育て支援事業に参加できるようにする	取組4-4-① 重【子育て支援事業「子育て親子よっといでプラン」の推進】 ①区役所内「キッズルーム」を子育て支援の拠点として整備 ・子育て世代の交流場所として子育てグループへの貸し出し。 ・子育て親子のための催しを開催。 ②「情報コーナー」の設置 ・キッズルーム周辺に子育てサロン、サークルや関連機関等の情報を一元的に提供し、発信する場として「情報コーナー」を整備する。 ③子育てボランティア養成講座の開催 ・ボランティアビューローと共催し、子育てボランティアを養成。 修了生は子育て支援事業の企画運営ボランティアとして事業へ参加していく。 ④子育て支援イベントの開催 ・子育てフェスタ、おもちゃライブラリー、親子コンサートを開催。 (業績目標) ・各事業を区民協働で進めるとともに、自主運営する子育てサロンを8か所以上に増やす。	①区役所内キッズルームを「おひさまルーム」として開設 ・9/27に「オープンセレモニー」を開催し、人形劇やコーナー遊びを実施し、60人の親子が参加。 ・「おひさまルーム」を利用して「おひさま子育てサロン」を、民生委員連盟の主催で月1回開始。 ・乳幼児健診時の待合室として利用や、サークルへの貸出しも開始。 ②「子育て情報コーナー」の設置と「子育てマップ」の発行 ・「おひさまルーム」の周辺に子育て情報コーナーを設置し、子育て関係機関のポスター、パンフレットにより、子育て情報を発信。 ・子育て関連情報を掲載した「子育てマップ」を発行し、各関係機関や乳幼児健診時に配布。 ③3月にボランティア交流会を予定 ・現在活動中の子育てサロン(5ヶ所)に参加しているボランティア同士の交流の場を持ち、次年度の新規サロンの開設につなげる。 ④子育てイベントの開催 ・11/10「みんなであそぼう！」を区民ホールで開催。 ・3/11「おもちゃライブラリー」を区民ホールで開催予定。	①	B	「おひさまルーム」を活用するための工夫が必要。 ・区ホームページや広報紙への掲載 ・乳幼児健診での働きかけ ・子育てサークルへの働きかけ ・「おひさまルーム」でのイベントの実施 ・子育てボランティアの発掘、養成、研修の実施。 ・実際に活動している人たちの話を聞き、次年度の養成講座へつなげる必要がある。 子育て親子支援の取り組みを実施 「子育て講座」を2・3月に3回連続で実施。	イ

※1 「具体的取組の進捗状況」 → ①：達成又は年度内に達成見込み ②：達成できない可能性がある ③：達成の見込みなし

※2 「戦略の進捗状況」 → A：当初の想定以上の成果が見込める B：当初想定したとおりの成果が見込める C：当初想定した成果が見込めない可能性がある D：当初想定した成果は見込めない

※3 「課題への対応」 → ア：21年度区取組み方針の改定 イ：21年度区取組み方針は改定せず、実施方法等を改善 ウ：22年度区取組み方針に反映

平成21年度区取組み方針中間振り返り 進捗状況シート（此花区）

中間振り返り 様式2

目標像 区民との協働で 誰もが安心して いきいきと暮らせる 潤いとぬくもりのある まちの実現		使命 ①「市民に最も身近な総合的行政機関」として、市民満足度の高いサービスの提供 ②市政における市民とのパイプ役として、情報を積極的に提供し、広く市民の声を聴く情報の受発信 ③地域課題の解決や地域ニーズに即し、市民との協働によるまちづくりの推進						
・生活習慣病やメタボリックシンドロームに関心が高まるなか、健康づくりが課題であるが、20年4月から始まった特定健診の受診率は10.4%と低調。 ・此花区民の平均寿命は、大阪市の平均を下回り全国の市区町村を大阪24区:男19位、女22位。 ※全国1965市区町村※ 男1891位、女1948位。 ※政令指定都市の行政区を含む。 ・かつての公害のまちのイメージとともに、緑地などまちに潤いが少ないことから、わがまちに誇りや愛着がもてるよう地域の活性化	⑤健康づくりに取り組み、元気でいきいきと暮らせるまちづくり。	戦略4-5 【区民との協働による健康でいきいきと暮らせるまちづくり】 ・区民が健康でいきいきと暮らせるよう、保健・医療関係団体、サークルなど幅広い区民と協働し、多様な健康づくり事業に取り組み、健康の増進を図るとともに、意識の向上をめざす。 (達成目標) ・5年後に、大阪市の平均寿命を上回るようにする。 ・特定健診の受診率を23年度に50%以上にする。	取組4-5-① 番【健康促進事業「このはな いきいき長生きプラン」】 ・区民との協働による健康づくりを進める。 「健康・予防医療」をテーマに、施策や事業のPR、健康ハンドブックの作成、ウォーキングや正しい歩き方教室、料理教室、健康講座・フェスティバルなど、区民との協働による健康づくり事業を実施。 (業績目標) ・広報紙による施策や各種事業のPR、全世帯へのチラシの配付、健康ハンドブックの作成。 ・健康講座を2回開催・700名の参加。 ・健康フェスティバルの開催・2,000名以上の参加。	・区民協働による事業推進のため、健康ハンドブック及びウォーキングマップづくりの参加者を広報紙・ホームページで募集した。 ・第1回ワークショップを7月に立ち上げ、以降毎月1~2回開催。 ・健康講座、料理教室の実施に向けて検討。	①	C	・国民健康保険の担当と特定健診受診の啓発に努めているものの、現時点では特定健診受診率の向上に結びついていない。 ・今後、さらに受診啓発に努めるとともに、啓発の取組み強化について22年度事業に反映させたい。	ウ

※1 「具体的取組の進捗状況」 → ①：達成又は年度内に達成見込み ②：達成できない可能性がある ③：達成の見込みなし

※2 「戦略の進捗状況」 → A：当初の想定以上の成果が見込める B：当初想定したとおりの成果が見込める C：当初想定した成果が見込めない可能性がある D：当初想定した成果は見込めない

※3 「課題への対応」 → ア：21年度区取組み方針の改定 イ：21年度区取組み方針は改定せず、実施方法等を改善 ウ：22年度区取組み方針に反映

平成21年度区取組み方針中間振り返り 進捗状況シート（此花区）

中間振り返り 様式2

<p>目標像 区民との協働で 誰もが安心して いきいきと暮らせる 潤いとぬくもりのある まちの実現</p>		<p>使命 ①「市民に最も身近な総合的行政機関」として、市民満足度の高いサービスの提供 ②市政における市民とのパイプ役として、情報を積極的に提供し、広く市民の声を聴く情報の受発信 ③地域課題の解決や地域ニーズに即し、市民との協働によるまちづくりの推進</p>					
<p>・地球温暖化が問題となっているなか、地域からの行動として 20 年度よりまちづくり会議を主体に、打ち水、エコバッグの普及、環境イベントの実施など「エコアクションプロジェクト」に取り組む、環境問題への関心が高まりつつある。</p> <p>・大阪市ではヒートアイランド対策として、海風を都心に呼び込む「風の道」モデル事業を予定している。</p>	<p>なぐまちの魅力を創出し、発信していく。 ・区内の史跡や観光資源など、まちの魅力を再発見し、発信していく（22 年度を目途に、区民学芸員を 20 名養成）。</p> <p>・3R運動などの生活実践を促進し、環境先進区としての地歩を固める。</p>	<p>取組4-6-③ 番【このはな区民学芸員養成事業】 ・区の歴史や観光資源、まちの魅力を発信する人材を養成し、地域の振興、まちの賑わいを創出していく。</p> <p>（業績目標） ・活動への参加者 20 名以上をめざす。 ・区民学芸員による観光ルートの作成、まち歩き事業の実施。</p>	<p>・約20名の区民学芸員の参加のもと、ワークショップ及びまちあるき実践講座を4回と大阪市指定文化財の見学を実施。（21年6月～） ・区民学芸員がまちあるきガイドとして使用するガイドマップのルートの決定。3ルート（21年9月） ・大阪歴史博物館学芸員の講演2回、ワークショップを5回程度開催予定 まちあるきガイドの実践（22年1月、3月予定）</p>	①	B	<p>個々の区民学芸員には、ガイドをするための知識やスキルのばらつきがあることから、ガイドとしての能力の平準化を図ることや、他のまちあるきガイドとの交流によるスキルアップをめざす必要がある。</p>	ウ
		<p>取組4-6-④ 番【「此花区“エコアクションプロジェクト”事業】 ・まちづくり会議を中心に、区民及び地域団体、区内商店街と協働して、環境に配慮した生活実践を推進する区民運動に取り組む。 ・マイバック持参運動、商店街の共通ポイント制の導入に向けた検討、打ち水行動などの呼びかけ。</p> <p>（業績目標） ・マイバック持参運動、打ち水行動の定着（区内 8 地域で実施）。 ・区内全商店街における環境の取り組みの推進（リサイクル資源ごみの回収の本格実施、マイバック運動と連携したポイント制の導入の検討）。</p>	<p>・まちづくり会議で、エコアクション事業の事業計画を決定。（21年6月） ・打ち水大作戦を区内8ヶ所で実施（21年8月～9月） ・商店街やスーパーと連携したエコバッグによるマイバック持参運動のキャンペーンの実施検討（22年2月予定）</p>	①	B	<p>・区民運動としての拡がりを推進していくために、区民全体にエコアクションを発信し、理解してもらう仕組みの検討が必要である。</p>	ウ

※1 「具体的取組の進捗状況」 → ①：達成又は年度内に達成見込み ②：達成できない可能性がある ③：達成の見込みなし

※2 「戦略の進捗状況」 → A：当初の想定以上の成果が見込める B：当初想定したとおりの成果が見込める C：当初想定した成果が見込めない可能性がある D：当初想定した成果は見込めない

※3 「課題への対応」 → ア：21年度区取組み方針の改定 イ：21年度区取組み方針は改定せず、実施方法等を改善 ウ：22年度区取組み方針に反映

平成21年度区取組み方針中間振り返り 進捗状況シート（此花区）

中間振り返り 様式2

目標像 区民との協働で 誰もが安心して いきいきと暮らせる 潤いとぬくもりのある まちの実現			使命 ①「市民に最も身近な総合的行政機関」として、市民満足度の高いサービスの提供 ②市政における市民とのパイプ役として、情報を積極的に提供し、広く市民の声を聴く情報の受発信 ③地域課題の解決や地域ニーズに即し、市民との協働によるまちづくりの推進					
経営課題5の背景となる現状 ・ 地域課題の解決に向けて区民の自主的な活動やコミュニティづくりが進められており、地域活動を支援し、協働の取り組みを推進するとともに、地域課題に主体的に取り組むための基盤づくりが必要となっている。	経営課題5 【地域活動の拠点づくりと自主的なまちづくりの支援】 ・地域課題の解決に向けた区民の主体的な取り組みを幅広く参画できる仕組みの確立。	戦略5-1 【地域活動の拠点づくり】 ・地域活動を行う団体やグループなどの交流会や学習会、意見交換により、区民協働による取り組みを拡充する。 (達成目標) ・まちづくりを推進する関係機関の連携、交流を進め、協働による取り組みを拡充発展させる。 ・区役所の「区民協働スペース」の整備による協働の取り組みを推進。	取組4-6-⑤ ・まちづくりワークショップ「このはなカエルクラブ」を発展させ、まちづくり能力開発セミナーによる事業の質を向上させる。 (業績目標) ・まちづくり能力開発セミナー参加メンバーを主体に、おもちゃの物々交換である「かえっこフェスティバルを実施」(500名の参加をめざす)。	・まちづくり能力開発セミナーの参加メンバーを含めた「このはなカエルクラブ」の組織化を検討。 ・10月3日の「エンジョイ！！舞洲2009」及びキッズカーニバルでのかえっこパザールの開催。 ・イベント開催に向けてのワークショップの開催	①	B	「このはなカエルクラブ」が市民主導で自立できるように組織化を進め、行政が側面から支援する体制づくりをしていく。	ウ
			取組5-1-① 【地域活動の協働の場づくりを推進】 ・まちづくり会議と地域福祉アクションプラン推進委員会の意見交換を行いながら、可能な事業で協働の取り組みを拡大していく。 ・まちづくりに関わる団体やグループ、NPO、区民の連携を強化し、交流会や学習会の開催や協働での取り組みを進める。 (業績目標) ・まちづくりの学習会や交流会の開催。(学習会1回、交流会1回)	舞洲において、女性会、緑化リーダー連絡協議会、体育指導員などの団体や企業が連携し、イベントを開催(21年10月予定)	②	C	まちづくりに関する学習会などを、まちづくり会議が主体となって呼びかけ、地域活動の協働の場づくりをおこなっていく必要がある。	イ

※1 「具体的取組の進捗状況」 → ①：達成又は年度内に達成見込み ②：達成できない可能性がある ③：達成の見込みなし

※2 「戦略の進捗状況」 → A：当初の想定以上の成果が見込める B：当初想定したとおりの成果が見込める C：当初想定した成果が見込めない可能性がある D：当初想定した成果は見込めない

※3 「課題への対応」 → ア：21年度区取組み方針の改定 イ：21年度区取組み方針は改定せず、実施方法等を改善 ウ：22年度区取組み方針に反映

平成21年度区取組み方針中間振り返り 進捗状況シート（此花区）

中間振り返り 様式2

<p>目標像 区民との協働で 誰もが安心して いきいきと暮らせる 潤いとぬくもりのある まちの実現</p>		<p>使命 ①「市民に最も身近な総合的行政機関」として、市民満足度の高いサービスの提供 ②市政における市民とのパイプ役として、情報を積極的に提供し、広く市民の声を聴く情報の受発信 ③地域課題の解決や地域ニーズに即し、市民との協働によるまちづくりの推進</p>						
<p>動として定着するとともに、コミュニティづくりの役割も果たしている。</p> <p>・誰もが地域で安心して暮らせるまちづくりをめざした地域福祉アクションプランの取り組みが3グループにより展開されている。</p>	<p>～「地域福祉アクションプラン」の実現に向けた取り組みを支援し、心ふれあう福祉のまちづくりの推進～</p>	<p>・まちづくり会議の自主的・主体的な活動を支援し、区民協働の取り組みを推進。</p> <p>戦略5-3 【地域福祉アクションプランの実現に向けた取り組みの推進】 福祉アクションプランの10の提案事業の推進をもとに、ふれあいとぬくもりのある福祉のまちづくりを推進する。</p> <p>・住民主体の地域性をいかしたまちづくりとして、より福祉に重点をおいた活動となるよう支援する。 (達成目標) ・全10地域で住民懇談会を開催し、課題の抽出により、地域ごとの取り組みを強化する。 ・地域福祉アクションプランの推進による、ふれあいとぬくもりのある福祉のまちの実現をめざす。</p>	<p>取組5-2-② ・「エコアクション事業」の取り組みを支援し、参加する区民、地域団体等を拡充する。</p> <p>・クリーンアップ大作戦(地域一斉清掃)の取り組みを支援し、参加者を拡充するとともに、幅広い地域団体、企業、学校などに拡充する。</p> <p>(業績目標) ・「エコアクション事業」をまちづくり会議を主体として、多くの地域団体や区民が参画する区民運動として盛りあげていく。</p> <p>・地域清掃への企業、学校などの参加促進(区内の3中学校、高等学校2校へ呼びかけ)。</p> <p>取組み5-3-① ・地域別の住民懇談会を開催し、地域の福祉課題の把握と解決策を話し合う。</p> <p>(業績目標) ・住民懇談会を3地域で開催。</p>	<p>・まちづくり会議の主催で、毎月1回の一斉清掃を1000人規模で実施し、一部民間企業も区民と協働して参画している。</p> <p>・各地域では、まちづくり会議主催以外で独自に清掃活動を実施している。</p> <p>・現在、不定期ではあるが、1高校、2中学校、3小学校の生徒・児童が地域のの人たちと一緒に清掃活動をしている。</p> <p>・たばこポイ捨て一掃・路上喫煙防止キャンペーンを一斉清掃にあわせて実施予定。(21年12月予定)</p> <p>・住民懇談会を、西九条、四貫島、の2地域で開催。</p> <p>・伝法では事前打ち合わせを2回実施。西九条では住民懇談会后、課題を解決するため「西九条『ふれあい会』実行委員会」を立ち上げ。</p>	①	B		ウ
				①	B		イ	

※1 「具体的取組の進捗状況」 → ①：達成又は年度内に達成見込み ②：達成できない可能性がある ③：達成の見込みなし

※2 「戦略の進捗状況」 → A：当初の想定以上の成果が見込める B：当初想定したとおりの成果が見込める C：当初想定した成果が見込めない可能性がある D：当初想定した成果は見込めない

※3 「課題への対応」 → ア：21年度区取組み方針の改定 イ：21年度区取組み方針は改定せず、実施方法等を改善 ウ：22年度区取組み方針に反映

平成21年度区取組み方針中間振り返り 進捗状況シート（此花区）

中間振り返り 様式2

<p>目標像 区民との協働で 誰もが安心して いきいきと暮らせる 潤いとぬくもりのある まちの実現</p>			<p>使命 ①「市民に最も身近な総合的行政機関」として、市民満足度の高いサービスの提供 ②市政における市民とのパイプ役として、情報を積極的に提供し、広く市民の声を聴く情報の受発信 ③地域課題の解決や地域ニーズに即し、市民との協働によるまちづくりの推進</p>					
			<p>取組5-3-2 ・芸術、文化活動を通じてすべての人がふれあうまちづくり。 ・高齢者の閉じこもりを防ぎ、豊かなコミュニケーションあふれる、あたたかいまちづくり。 ・ブルトッパ回収運動を通じて、心と心のかよあうまちづくり。</p> <p>(業績目標) ・アクションプランの3グループ(あみゆ〜ず・この花咲かそうよ・このはな輪ちゃん)による地域福祉活動を他の事業と連携しながら推進する。</p>	<p>実行委員会3グループの取組みについて ①あみゆ〜ず ・「どこでもコンサート事業」を障害者関係施設で実施。 ・「あみゆ〜ずバンクでつながろう」事業で、バンク登録者をボランティアビューローに登録し、ビューローからの依頼にも対応。 ②この花咲かそ〜よ ・「こころのかけ橋交流便事業」で小学校のいきいき教室や老人憩の家等新たに9か所でポストを設置し、投函されたハガキを地域の高齢者食事サービス利用者や高齢者施設に届けることで、ハガキのやり取りのある施設を幼稚園児が訪問し交流をもった。 ③このはな輪ちゃん ・「ブルトッパでつながろう事業」を、四貫島住民懇談会で活動説明するとともに地域のフェスタ、身体障害者連合の運動会、区民まつり等に参加。PR 活動した車いすを贈呈。(「このはな輪ちゃん3号」を高齢者施設に、「このはな輪ちゃん4号」を小学校に寄贈。 ・「情報をとどけよう」事業で「このはなちゃんの知っ得情報」第4号を発行。</p>	①	B	<p>実行委員会3グループが積極的に取組みをおこなっているが、各グループごとに課題がある。</p> <p>①あみゆ〜ず 「どこでもコンサート事業」ではグループと団体等が個別に交流できているが、地域への広がりや継続性といった視点をさらにどのように強化していくかが課題。</p> <p>②この花咲かそ〜よ 「こころのかけ橋交流便事業」が一定の広がりを見せ、それに伴い書き手(子ども)が不足しているのが現状であることから今後、書き手(子ども)をどのように広げ、継続性のある事業としていくかが課題。</p> <p>③このはな輪ちゃん 「ブルトッパでつながろう事業」は継続性のある事業として地域で広がりを見せている一方、ブルトッパを収集することだけが一人歩きしている傾向にあることから、人と人がつながることが目的の事業であることの意義を再確認し、広めていくことが課題。</p>	イ

※1 「具体的取組の進捗状況」 → ①：達成又は年度内に達成見込み ②：達成できない可能性がある ③：達成の見込みなし

※2 「戦略の進捗状況」 → A：当初の想定以上の成果が見込める B：当初想定したとおりの成果が見込める C：当初想定した成果が見込めない可能性がある D：当初想定した成果は見込めない

※3 「課題への対応」 → ア：21年度区取組み方針の改定 イ：21年度区取組み方針は改定せず、実施方法等を改善 ウ：22年度区取組み方針に反映